

令和4年度 第3回 四街道市行財政改革審議会 会議概要

開催日時	令和5年2月8日（水） 10:00～11:00
場 所	四街道市 保健センター 3階 大会議室
出席委員	中村（塑）委員、丸岡委員、中村（美樹）委員、大野委員、松野委員、土井委員、添田委員、木本委員、田島委員、金親委員
欠席委員	なし
事務局	経営企画部：石渡部長 財政課：平田課長、坂本課長補佐兼行革推進室長、杉山主任主事、森山主任主事
傍聴人	0名

会議次第

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 諮問
4. 市長あいさつ
5. 議 題
 - ・第9次四街道市行財政改革推進計画の策定について
6. その他
7. 閉 会

議 事

議題 第9次四街道市行財政改革推進計画の策定について

事務局 （資料1説明）

中村会長 質問や意見等はあるか。

田島委員 資料3「No.3業務改善（元千代田郵便局の土地の購入）」について、市の考え方は、「購入しないという結論に至っている」とある。元千代田郵便局跡地周辺では、公共施設があり、駐車場に困っているようだが、どういう経緯で購入しないという結論に至ったのか。

事務局 元千代田郵便局跡地については、建物付きでの購入確認であった。関係課へ照会をしたところ、建物付きでの有効活用は考えられなかったことから、購入しないという結論に至ったものである。現在は、売却済みであると聞き及んでいる。ご理解いただきたい。

田島委員 市の予算について、実績により残った予算についてはどうしているのか。仮に10億円の予算があるとする。それが結果として9億5千万円に収まった場合、残った5千万円はどうしているのか。予算は、議会の承認を得ているので、10億円を当然使っていいわけである。民間企業では、10億円の予算があつたら、その10億円を使い切り、翌年に持ち越さない。次の予算が9億円になってしまうからである。予算を使って市民のために貢献するのが義務だと思うが、市としてはどのように考

えているのか。

事務局 様々な事業の予算を、議会に承認をいただいた上で執行している。歳出については、実績に基づいて支払いをしており、予算より少ない執行の場合は残が出る。この余った予算は、翌年の予算でも使えるように繰り越しをしている。翌年度はその残った部分を含め、予算を組んでいく。

田島委員 国の仕組みと少々異なるのではないか。例えば、10億円の予算で10億円を使い切らないと、次の予算が9億円になってしまう。予算が取りづらくなってしまう。四街道市はどうしているのか気になった。

事務局 予算については、必要な経費を各課で計算し、それを元に算定している。前年度の決算状況については、予算の査定時に加味するが、事業の必要経費として同じ金額の確保が必要であれば毎年度計上している。

金親委員 今回の骨子の作成にあたっては、市役所内部での色々な調整があったかと思う。今後も、策定方針に基づき計画案をとりまとめていく中で、第8次行財政改革推進計画同様、色々な取組項目がでてくると思う。これは、毎回申し上げているが、それぞれの取組項目については、ぜひとも市民にわかりやすい指標にするなど工夫をしてほしい。最終的に行財政改革推進計画が策定され、進捗管理をしていく中でも、それぞれがどのような効果があったのかということは勿論だが、それが市民サービスにどう結びついたのか、行財政改革と市民サービスの関係を市民にわかりやすく説明していただきたい。

次に、資料1と資料2の関係について確認したい。資料2は、第8次行財政改革推進計画の取組項目との比較になっており、第8次行財政改革推進計画においては推進方針が4つである。一方、第9次行財政改革推進計画については、資料1をみると推進方針が2つということだが、資料2には記載がない。今後はこの2つの方針の中にそれぞれの取組項目がぶら下がってくるという理解でよろしいか。

事務局 そのご理解で良い。

金親委員 参考資料1で少し気になるのが、「総務部会 口座振替推奨の周知推進による郵送料等の削減」についてである。効果として、郵送料が節減になるとあり、効果額が毎年1千円、計画期間で3千円である。項目を提案するにあたっては、大変苦勞されているかと思うが、果たしてこれが行革計画の項目にふさわしいのかどうか。一方で、口座振替については税の中では大変重要な取組課題だと思う。これは、業務削減による効果額よりも、むしろ口座振替の加入率などを目標とし、そのために具体的に何をすべきなのかを、検討されるのが良いのではないか。それぞれの事業があるかと思うが、特に口座振替についてはそう思う。

事務局 わかりやすい指標や市民サービスと行財政改革がどう繋がっているかなど、今後の課題として努力していきたい。今回、第9次行財政改革推進計画の新たな取組項目を庁内へ提案の依頼をしたが、四街道市では継続して行財政改革を行っており、なかなか新たなものの提案が難しくなっている。金親委員のおっしゃるとおり、口座振替の指標については、ペイジーの導入も来年度から控えているところであるため、登録率や利用率を指標のひとつとして考えていきたい。

- 木本委員 資料1の骨子については、すごくシンプルにまとまっていて読みやすいと思う。前回の時にも申し上げたが、持続可能な開発目標（SDGs）について、それぞれの目標が計画の各取組項目のどこに当てはまるのか、わかるようにしてほしい。「3 計画の基本的な考え方」の「(4) 持続可能な開発目標（SDGs）の反映」に記載がある以上、各取組項目との紐づけを入れていただけるとわかりやすい。
- 事務局 持続可能な開発目標（SDGs）に関しては、計画（案）の際に各取組項目において関連する目標を明示し対応していきたい。
- 添田委員 今後のスケジュールの確認をさせていただきたい。「策定方針」では、今後計画案が作成され、8月に審議会で審議し、その後11月に計画が決定するとあったが、このスケジュールに変更点はないか。
- 事務局 来年度の第1回目審議会については、令和5年7月～8月頃を予定している。その際に計画（案）についてご審議いただく予定である。全体的なスケジュールに変更はない。ただ、「新たな総合計画」との連携もあるため、総合計画の策定状況によっては、第9次行財政改革推進計画の計画決定のスケジュールを変更する場合もある。
- 松野委員 骨子では、計画の全体像が見えていないが、今後の計画（案）において、データ等が記載され、よりわかりやすくなるということで良いか。例えば、市民税等の収納率の向上などにおいて、現在の収納率がどれ位なのかもわからず、今後どのようにしていけば収納率が向上していくのかといった具体策も見えてこないのので、このあたりが記載できれば良いと思う。
- 参考資料1については、大きく効果額がでてるのが、「福祉サービス部会 障害者基幹相談支援センターの業務委託」について、これが適正なのかということが正直わからない。障害者の方々に、行政サービスの満足度などが落ちない状態で、このような取り組みをすることはとても良いことだと思うが、効果等が不明のため、うまく評価ができないのではないかと。
- 事務局 骨子はあくまで大きな趣旨のみを記載しているため、なかなかわかりづらいと思う。今後、計画（案）において、表や文言を増やし、わかりやすく作っていきたい。例として挙げていただいた「福祉サービス部会 障害者基幹相談支援センターの業務委託」については、コストカットをして効果が生まれるというものではなく、現在、障害者基幹相談支援センターは、市の職員が直営で業務をしており、それを障害者相談支援に長けている事業者へ委託に切り替えることにより、削減される行革効果額である。
- 土井委員 第9次行財政改革推進計画の新たな項目として、「デジタル化の推進」とあるが、現在取り組みとして決まっている内容があるのか。なかなかデジタル化は難しい取り組みであるが、例えば、新しい課を作るとか、外部から職員を招くなどどういった職員がやるのかなど教えていただきたい。
- 事務局 デジタル化の推進についての組織改編などは、来年度からすぐにといいことではない状況である。四街道市のデジタル化については、情報推進課が中心に行

っている。その他の課においても、国からの通知等により様々な行政サービスのデジタル化を進めているところであり、市全体として計画的に行っている。その一環として、参考資料1の「健康こども部会 窓口発券機（混雑状況の発信システム）の導入検討」であり、市民の方が外でも混雑状況を把握することが可能となり、窓口の円滑なご案内ができるように窓口発券機の導入を検討している。

中村委員 今回、新たな取組項目の提案書を提出するにあたり、市民の目線から、市内の状況について改めて調べたが、四街道市は無駄遣いが少ないと感じた。今、行財政改革として全体的に説明されたのが、事業の無駄を減らすコストカットや、収納率の向上を目指すなどといったことだった。ただ、四街道市は良いところが多くあるので、これを発信し若者などの転入者を増加させるようなPRをして、税収を増やすことを検討しても良いのではないか。それに合わせて市民サービスも向上させていけたら良いと思う。

事務局 現在、四街道市では若い方がもねの里を中心に転入してきており、全国的に人口減少の傾向があるが、四街道市においては増加傾向の状態である。住みやすい街、子育てしやすい街も含めてセールスポイントとして発信していきたい。

中村会長 ほかに意見はあるか。

委員 (特になし)

中村会長 それでは以上で、令和4年度第3回四街道市行財政改革審議会を終了する。